





独立行政法人国立病院機構  
**沖縄病院**

〒901-2214  
 沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号  
 TEL : 098(898)2121  
 FAX : 098(898)6433 (地域連携室直通)




ISO 9001:2015

2023年5月 No.112 発行/地域医療連携室



**【沖縄病院 診療科の案内】**

★肺がんセンター	★外 科	★呼吸器内科	★消化器一般内科	★脳・神経・筋疾患研究センター
★脳神経内科	★緩和医療科	★放射線科	★麻酔科	★病理診断科

**基本理念**

患者さまの立場を尊重し  
高度で良質の医療を提供します

**運営方針**

1. 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
2. 患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
3. 健全な経営基盤の確立
4. 安心して療養に専念できる快適な環境
5. 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実

**【沖縄病院 病床数：300床】**

- ★がん専門病棟：60床
- ★神経筋病棟：145床
- ★緩和ケア病棟：25床
- ★結核病床：30床
- ★地域包括ケア病棟：40床

**【目 次】**

- 1ページ: トゥルービーム風景
- 2ページ: 院長あいさつ
- 3ページ: 地域医療連携室室長あいさつ
- 4-5ページ: トゥルービーム紹介
- 6ページ: 経営企画室長あいさつ・外来紹介
- 7ページ: 連携医療機関紹介
- 8ページ: 外来担当医表

# 沖縄病院院長就任のご挨拶



国立病院機構 沖縄病院 院長 大湾 勤子

このたび、2023年4月より沖縄病院院長を拝命しました大湾勤子と申します。前任の川畑勉先生より引き継ぎ、責務を思うと身が引き締まる思いです。

私は、1997年に琉球大学第一内科より呼吸器内科医として当院へ赴任し、現在まで呼吸器診療に加えて、緩和ケア病棟の発足・拡充に携わってきました。そして2020年より爆発的な流行となった新型コロナウイルス感染症の診療も担ってきました。医療は多職種連携によりその力が発揮されます。今回、院長として多くの職員が活躍できるような病院の礎を築いていきたいと考えています。

当院は、1948年、現在の金武町に沖縄民政府公衆衛生部金武保養院として創設され、沖縄の戦後の歩みとともに琉球政府立、日本復帰後は国立療養所金武保養院と名称が替わりました。1978年には現在地の宜野湾市に移転し国立療養所沖縄病院として知られるようになりました。今でも時々「国療沖縄病院」と言われますが、2004年には独立行政法人国立病院機構沖縄病院へ移行しています。創設から今年で75年が経過し、病院としての役割も大きく変化してきました。国立療養所時代には、肺結核や筋ジストロフィーなどの政策医療が中心でしたが、時代の変遷とともに、肺がん、脳・神経・筋難病、緩和ケア、結核・非結核性抗酸菌感染症を特色とした診療が行なわれるようになりました。最近では、高齢化社会の到来に合わせて地域包括ケアを提供する病棟を2019年に開棟しました。しかし現在は、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関としてコロナ病棟へ転換しています。2023年4月には、放射線治療装置が更新され、新しく導入された高精度放射線治療装置「True Beam」を活用して、最適な放射線治療を提供できる体制を整えました。

「温故知新」とありますように当院のこれまでの役割を振り返りつつ、今の時代に即した安全で良質な医療を提供できるように、職員一丸となって取り組んでいく所存です。

これまで当院が築いてきた専門性を維持し、さらに発展させるために欠かせないのが、臨床研究と人材育成と考えます。2019年4月には国立病院機構臨床研究部が発足し、治験の参加や臨床研究の活性化に取り組んでいます。医師のみならず看護職や他の医療職の研究課題への取り組みも増えてきました。研修医・専攻医、認定看護師や医療専門職の教育、指導にも力を注ぎたいと思います。そのためには、これまで同様近隣の医療機関との積極的な交流が不可欠です。地域連携室を通してこれからも連携をよろしくお願い申し上げます。

近年、医療界でもIT(情報技術)の様々な技術が応用されるようになりました。コロナ禍に対応する中で、様々な工夫がなされ、働き方に革新をもたらしています。タスクシェアが進められ、マンパワー不足を補うデジタル化も今後さらに進んでいくことが予想されます。一方で、技術だけでは補えない人との関わりや温かさが医療現場には求められます。「あなたに出会った人がだれでも、前よりもっと気持ちよく、明るくなって帰るようになさい」(マザーテレサ)という出会いや関わりができるような病院を目指していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

# 地域医療連携室長就任のご挨拶



地域医療連携室長 比嘉 太

平素より、沖縄病院の診療と運営にご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

この度、沖縄病院の地域医療連携室長を前任の仲本 敦先生(内科部長)より引き継ぎ、担当することになりました比嘉 太と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

この機会に、沖縄病院における診療の動向について、ご紹介したいと思います。今年度4月には、ハイスpek機能を有する放射線治療装置の稼働が始まりました。従来の機種では対応が困難であった脳・脊椎・大動脈近傍の病変でも、呼吸性移動のため治療が困難であった肺末梢の小結節(小さな転移)に対しても、放射線治療が可能となっております。放射線治療専門医の前本 均 先生を当院にお迎えして、当院における放射線治療の幅は大きく広がっております。

肺がんセンターでは、呼吸器外科、呼吸器内科、放射線診断、放射線治療、病理検査、の専門医が多数在籍しており、カンサーボードを開催し、治療方針を多角的に検討し、決定しています。早期肺がんに対する「機能温存」と「根治性」を重視した縮小手術、進行肺がんに対する「根治性」を目指した集学的治療に積極的に取り組んでいます。

脳・神経・筋センターでは、難治の疾患に対し、先進的な治療およびリハビリを取り入れた診療を提供しています。緩徐進行性の神経・筋疾患により歩行機能が低下している方にはHAL®を用いたトレーニングプログラムを準備しております。

緩和ケア病棟では、医師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど多岐にわたる専門スタッフがチームを組み、患者様やご家族とともに考える緩和医療を提供しています。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に指定変更となり、3年にわたるパンデミックとの闘いは大きな節目を迎えることとなりました。これまで沖縄県では、県感染対策本部のイニシアチブのもと、重点医療機関が中心的役割を担って新型コロナウイルス感染症診療にあたっていました。今後は各々の医療施設の役割が大きくなり、医療施設間の連携がさらに重要となっております。沖縄病院では、現在ある新型コロナウイルス感染症の専用病棟を令和5年9月まで延長して設置することと致しました。

地域包括ケア病棟は、急性期疾患により入院された方々の在宅療養にむけて、身体精神機能の回復を図るための病棟です。現在は、新型コロナウイルス感染症専用病棟として利用されておりますが、環境が整備され次第に開棟の予定です。

私ども地域連携室スタッフ一同、今後とも地域の医療機関の先生方、スタッフの皆様方との連携を深め、皆様から信頼され、さらに安心して患者様を御紹介頂ける病院となることを心掛けて参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

# 高精度放射線治療「True Beam」導入 2023年4月25日から放射線治療開始します!!



放射線治療医長 前本 均

沖縄病院放射線治療科の前本均と申します。

当院の放射線治療はこれまで非常勤医師のみで対応しておりましたが、私が4月から常勤医師として着任致しました。新しく導入された放射線治療装置を活用して、より多くの患者様に最適な放射線治療を提供できるよう努めて参ります。

月～金曜(木曜を除く)まで新患紹介を受け付けています。当院に専門の常勤医師がいない疾患の入院治療についても相談可能です。

ぜひ、当院の放射線治療科へご紹介頂けますようお願い申し上げます。放射線治療の適応などについてもお気軽にお尋ねください。



病変に合わせた形状をミリ単位で調整し、病変にフィットした照射作成が可能になり、ピンポイントでの治療が可能となりました。IGRT(画像誘導放射線治療)や呼吸性移動対策、正確に病変への位置を合わせるための6軸方向移動可能な寝台も導入され、これらの新たな機能により正常な組織への線量を抑えることができるため、副作用の低減が期待でき、正確で精度の高い治療が可能となります。

## 当院の高精度放射線治療装置の特徴

### ・画像誘導放射線治療(IGRT : Image Guided Radio Therapy)

当院の画像誘導放射線治療は装置に搭載しているX線装置でKVのX線画像を撮影し位置ずれを確認・補正(誘導)し正確に位置を合せ治療を行います。高精度放射線治療を行うには必須の技術です。

### ・6軸移動可能な寝台

従来、装置は患者さまの位置ずれの補正を4軸で補正を行っていましたが、導入した装置には6軸移動可能な寝台になりました。6軸動くことにより患者さまの傾きなど補正できるためより高精度な位置補正(0.1mm,0.1°単位)で治療を行うことができます。

・**呼吸性移動対策として**当院は呼吸同期照射法、息止め照射法など、呼吸同期システム(RGSC : Respiratory Gating for Scanners)を用いて、CTで呼吸パターンを取得し、治療時に呼吸性移動の影響を受けず、照射する体積を小さくし、正常な組織への線量低減ができます。

### ・定位放射線治療

#### (SRT: Stereotactic Radiation Therapy SBRT : Stereotactic Body Radiation Therapy)

病巣に対してあらゆる方向から放射線を照射することで、線量を集中しピンポイントで照射する技術です。IGRT、6軸寝台、呼吸性移動対策の技術を駆使し、より線量を集中することができるので、通常の治療と比べ、正常な組織への影響が少なくできます。

### ・FFF:Flattening Filter Free

通常の治療では照射する放射線の線量を平坦にするためにFlattening Filterと呼ばれる金属のフィルターを使用し治療を行っております。定位放射線治療照射など照射範囲が小さい場合、この金属フィルターを使用せず治療を行うことが可能で照射が1/4の時間で治療を行うことができます。

以上、当院の放射線治療装置の特徴になります。

最新の放射線治療装置が導入され放射線治療の適応幅が広がりました。

患者様の安心・安全な高精度放射線治療の提供し、患者様と家族の気持ちに寄り添い、安心して放射線治療を受けていただけるように心がけています。

## 地域医療連携室 室長補佐

あいさつ



経営企画室長 長岡 徹哉

令和5年4月1日付で地域医療連携室長補佐として着任しました経営企画室長の長岡と申します。沖縄病院勤務は11年ぶり2回目となります。最初の勤務は平成21年4月から平成24年3月まで業務班長として4年間の勤務でした。

当時は一大イベントとして病棟建替工事の実設計段階であり、準備工事として筋ジス病棟建築予定地にあった旧保育園を現在の場所に移転する工事が完了したところでした。

今回11年ぶりに着任し、当時思い描いた新病棟が力強く稼働している様子に感動と懐かしみを感じているところです。

さて、当院は沖縄県難病医療拠点病院に指定され、県内唯一の専門医療機関としてナショナルセンターや基幹医療施設と連携し、神経・筋難病疾患患者の医療に貢献しています。

また、平成30年には肺がんセンターを開設し、県内でも死亡数の多い肺がん治療の中核病院としての役割を担っています。更新整備を終え、令和5年4月に稼働をはじめた新しい放射線治療装置はあらゆる部位のがんに対応でき、より高精度な定位放射線治療が可能となりましたことで、県内の医療機関からの期待も高まっています。更に、沖縄県結核医療中核病院であり結核医療の最終拠点施設としての役割、充実した緩和ケア病棟の運営による終末期医療の役割、地域包括ケア病棟による回復期医療の役割等と、県内外及び地域へ果たすべき責務も大きく、地域医療連携室は、その多くのニーズに答えるべく、地域の窓口として活発に活動しています。

沖縄病院のメインテーマであります「患者様の立場を尊重し、高度で良質な医療を提供します」を念頭に、地域に必要な信頼される病院を目指し、微力ではありますが取り組んでまいりますので引き続きご支援、ご指導賜りますようお願いいたします。

## 生まれ変わった発熱外来

感染症を中心とした発熱外来を改修工事し、新たに生まれ変わりました。

診察室は1室しかなかったことから、屋外や車での待機をお願いすることが少なくなく、診察や治療を受けるまでお待たせすることもありました。今回の改修で待合室に加え、診察室を3室整備することができました。

今後も患者さんに安全かつ安心して受診していただけるよう、感染対策を徹底して参りますので、どうぞ安心しておこしてください。





沖縄病院と連携していただいている  
医療機関をご紹介します



宜野湾整形外科医院  
Ginowan Orthopedic Clinic

介護 まえはら

デイケアまえはら・デイサービスまえはら

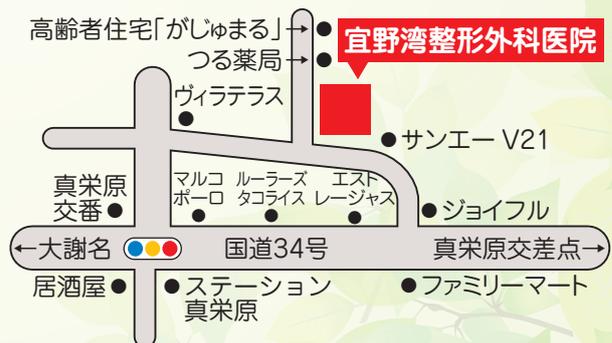


理事長 福嶺 紀明



- ◆ 診療科目 / 整形外科・リハビリテーション科
- ◆ 所在地 / 宜野湾市真栄原3-7-7
- ◆ 電話番号 / 098-897-1891
- ◆ 休診日 / 日曜・祝祭日・木曜土曜午後

おかげさまで宜野湾整形外科医院は令和4年11月で創立42周年を迎えました。一般整形外科だけではなく、肩の痛み・スポーツ障害(特に野球)を中心に日々の診療を行っております。医療機器はレントゲン一般撮影・エコー・骨密度測定装置を備えています。外来リハビリテーション科には理学療法士5名・作業療法士2名が在籍し、お年寄り・小児・スポーツ障害・整形外科術後の患者様を多く受け入れております。また付帯事業として、デイケアまえはら(短時間)・デイサービスまえはら(一日型)を併設し、要支援・要介護となったお年寄りの方対象に、理学療法士(3名)による充実した機能訓練を提供しております。これからも地域に必要とされるクリニックを目指し、職員一同邁進していく所存です。



# 外来診療科担当医表

診療受付時間：内 科 8時30分～12時まで  
 外 科 8時30分～12時まで  
 胸部二次精査 8時30分～12時まで

2023年5月1日現在

診療科(受付時間)		曜日	月	火	水	木	金
内科	呼吸器内科 (紹介状あり) (8:30～12:00) (地域連携室へ問い合わせ下さい)		仲本 敦	知花 賢治	【交代制】 ①知花 賢治 ②名嘉山 裕子 ③仲本 敦 ④久田 友哉 ⑤比嘉 太	久田 友哉	名嘉山 裕子 (第1.3.5) 比嘉 太 (第2.4)
	呼吸器内科 一般内科 (紹介状なし) (8:30～12:00)		比嘉 太 知花 賢治	大湾 勤子 仲本 敦		大湾 勤子 ※再診予約制 比嘉 太(午前) 知花賢治(午後)	仲本 敦
	総合診療内科 消化器内科 (火・木:8:30～12:00)			樋口 大介			樋口 大介
脳神経内科	新患 (予約制) (8:30～12:00)		渡嘉敷 崇 藤原 善寿	城戸 美和子 藤原 善寿	【休診】	妹尾 洋 宮城 朋	
	再診 (予約制)			渡嘉敷 崇 妹尾 洋	【休診】	渡嘉敷 崇	諏訪園 秀吾 城戸 美和子 藤原 善寿
外科	外 科 呼吸器外科 (8:30～12:00)		星野 浩延 久志 一郎 (消化器)	饒平名 知史	仲宗根 尚子	川畑 勉 久志 一郎 (消化器)	河崎 英範
整形	整形外科(9:00～12:00)			勝木 亮	勝木 亮	勝木 亮	勝木 亮
	骨軟部腫瘍(9:00～12:00) ※新患受付は9:30まで			當銘 保則		大城 裕理	
緩和医療外来 (予約制)			久志 一郎		久志 一郎	久志 一郎	
放射線科			大城 康二	大城 康二	大城 康二	大城 康二	大城 康二
放射線治療科			前本 均	前本 均	前本 均		前本 均
がん検診・特定健診(予約制)					9:00～12:00		
肺ドック(予約制)				13:00～15:00			
専門外来	ピロリ菌・大腸CT外来			樋口 大介 (8:30～12:00)		樋口 大介 (8:30～12:00)	
	循環器専門外来				比嘉 富貴 (9:00～12:00)		
	非結核性抗酸菌外来				金城 武士 第1(9:00～12:00)		
	糖尿病外来			与那覇 健 (14:00～17:00)			
	皮膚科外来					岩本 凜々子 (14:00～17:00)	
	乳腺・甲状腺外来(予約制)						蔵下 要 第1.3.5(14:00～17:00)
禁煙外来(予約制)			当面の間、休診				
がん看護外来 (10:00～12:00) (14:00～17:00)			認定看護師	認定看護師	必要時 外来師長連絡	認定看護師	認定看護師

※予約変更又はキャンセルについては、下記の専用番号にお電話ください。

外来予約変更専用電話 098-898-2181

受付時間 10:00～16:30(土日・祝日、年末年始を除く)

※セカンドオピニオンは病院間の調整で予約を受け付けております。



独立行政法人国立病院機構 沖縄病院

〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号

TEL 098-898-2121(代)

FAX 098-897-9838